

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

屋久島のたき

宮浦小 五年 石田 穂乃香

千尋のたきは、硬い岩も削ります。島にふ
 る夕量の雨は、いくすじもの川となつて、
 ヲム岳の裾のきよ大な花こう岩の岩盤を
 川がきざんで、壮大なV字谷の量観をつくり出
 しています。

次に大川のたきは、島南西部の海岸近くにあ
 る、一だんの落差では、屋久島最大のたきで
 88mの落差を豪快な水しぶきを上げて、いっ

きに流れ渡ります。

さらに白谷水峡は、宮之浦川支流の白谷
 上流に、ある自然休養林で、水量豊かな溪流
 な沿いに、下り開する苔むした原生林の中に
 遊歩道が整備されています。

さいごに、ヤリスギランに内の清流、荒川上
 流の標高千メートル付近にある自然休養林や
 アスギランには、車で訪れることができません。
 整備された遊歩道を歩るまながら、いくつ

かの著、杉や苔むした、大きな切り株など、屋

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

久杉原生林の姿を間近に
かんしようすること
ができます。
私がこの中でいつか
みたい所は、ヤリスギ
ランド内の清流と千尋の
たまです。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

